

2学期が始まって、2週間が経過しました。例年と比較すると気温はそれほど高いとは感じませんが、湿度が高く不快指数が高いように思います。しかし、エアコンが設置されたおかげで、教室で行う授業ではどのクラスも落ち着いて学習に取り組むことができている。これから陸上運動記録会や音楽発表会へ向けての練習、バス旅行や修学旅行を予定しています。各行事への取り組みや日々の学習を通して、「心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を図っていきたくと思っています。

【全国学力・学習状況調査】の結果を受けて

4月に実施した全国学力状況調査結果（6年生を対象に国語・算数実施）についてお知らせします。

<学力状況調査結果>から A問題・・・「基礎・基本」問題 B問題・・・「活用」問題

本校児童の学力状況は、国語A問題と算数A問題はともに全国平均をやや上回っていましたが、国語B問題と算数B問題はやや下回っていました。

【全国平均より正答率が高かった項目 ☆ 全国平均より正答率が低かった項目 ★】

- 【国語】 ☆漢字を正しく書くこと。
★登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえること。
★物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること。
- 【算数】 ☆加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。
☆商を分数で表すこと。
☆正五角形は五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解すること。
★示された数の意味を表と関連づけながら正しく解釈し、記述すること。
★身近なものに置き換えた基準量と割合をもとに、比較量を判断し、その理由を記述すること。

<6年生の授業風景>



<児童質問紙調査結果>から

全国平均との差が見られた主な項目は、以下の通りです。

- ☆「授業の最後に学習内容を振り返る活動がよく行われていた」「ノートに、学習のめあてとまとめを書いていた」「学校以外で、普段1日当たりどれくらいの時間勉強しますか（1時間以上）」の項目では、高い傾向にありました。
- ☆「1日当たりどれくらいの時間、テレビやゲーム（携帯電話やスマホ等含む）をしているか（1時間未満）」の項目で、高い傾向にありました。
- ★「授業で、学級の友達と話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えはしっかり伝えていたと思う」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか」の項目で、低い傾向が見られました。
- ★「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい」「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたい」の項目で、低い傾向が見られました。
- ★「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか」の項目で、低い傾向が見られました。

○今後の取り組み

各教科における基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた取り組みは、着実に成果を上げてきていますので、方法や内容を見直ししながら質の向上を図りながら継続していきたくと考えています。しかし、国語では「読むこと」と「書くこと」、算数では、「図形」と「量と測定」の領域において、定着がやや不十分であることが分かりました。つまりきの大きかった設問については、「なぜ」間違っただけで、「どのように」間違っただけを誤答分析をして、再度指導するとともに、日々の授業や家庭学習等で改善を図っていきたくと考えています。

日々の授業では、その時間のねらいを明確にすること、一人で考える時間、話し合う時間、書く時間を確保すること、その時間のまとめをすること等、授業の基本を大切に指導の徹底を図っていきたくと思っています。その上で、獲得した知識や技能を基に、自分で考え、友達と話し合っただけで考えを広げたり深めたりすることで、各教科の特質に応じた見方や考え方を磨くことができるように授業を改善していきたくと思っています。こうした取り組みを通して、学習方法を身につけ、学習意欲が向上し、主体的に学習に取り組むことのできる児童が増えてくるのではないかと考えています。そのためにも、私たち教職員はこれからも、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できるように、様々な研修を積み、指導力の向上に努めていきたくと思っています。

【具体的な取り組み】

- ・授業における国語の教科書の音読及び読解力を付けるための問題に取り組む。
- ・ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、自分の考えの根拠を明らかにしながら発表する習慣を身に付ける。
- ・県が作成している資料「ふりかえりプリント集」「たしかめシート」や「トライシート」など、教科書以外の問題も活用して、基礎力・応用力を身に付ける。
- ・朝自習や朝のチャレンジ学習、家庭学習の一層の充実を図っていく。

○保護者の皆様へ

引き続き、基本的な生活習慣の定着、家庭学習へのご協力をお願いします。詳しくは、「校長通信」と一緒に配布しています、県教育委員会作成の「子どもが伸びる家庭学習」を参考にしてください。

- 1 家庭学習の3つの約束（①始める時刻 ②場所 ③学習量「時間とページ数」）
- 2 家庭学習の内容（①宿題 ②自主学習A〔復習や予習〕 ③自主学習B〔自由〕）
- 3 望ましい生活習慣（①「早寝・早起き・朝ご飯」 ②メディアコントロール「時間・場所・使い方」）

回顧録 ③「とびっきりの笑顔」

教員駆け出しの頃、今でも鮮明に記憶していることが多々ある。その一つが、体育の授業をしていたときに6段の開脚跳びに成功したときに見せたA子の笑顔である。A子は運動を苦手としていたが、「大丈夫、大丈夫」と励ましながら跳べるコツを教えて練習させると、あっさりと跳ぶことができたのである。これまで全く跳ぶことができなかったA子はまさか6段の跳び箱を跳ぶことができるとは思っていなかった。跳んだ瞬間、「先生跳べた！」と満面の笑みを浮かべながら飛び跳ねるように私のところに駆け寄ってきたのである。あときの表情は今でも私の脳裏に焼き付いている。何とも純粋で、これまで見たこともない最高の笑顔に出会った瞬間であった。授業中に、子どもが笑顔を見せるときは、「できた」「分かった」瞬間が多い。その後も、A子が見せたような笑顔を見るたびに、元気・やる気が出たことをありがたく思っている。しかし、子どもがいつも笑顔になれるようにどれだけ努力してきたかを自問自答すると、申し訳ない気持ちになる。ちなみに、10数年後A子と会った際にあときのことを話したが、覚えていなかった。むしろ、叱られたときのことを懐かしみながら愉快地話してくれた。誉めることよりも叱ることの方が多かったからではないかと反省するとともに、A子にはあときの成功体験よりも、その後もっとうれしいことや楽しいことがたくさんあったのだろうと、内心うれしく思った。